

# 探究科1年生が国内研修に行って、パワーアップしてきました！

平成29年12月13日（水）、14日（木）の2日間、探究科初めての国内研修が広島大学を中心に実施されました。この研修は、近隣のスーパーグローバル大学や企業、研究機関等を訪問し、知見を広げることで、今後の研究に生かすとともに、プレゼンテーション能力やコミュニケーション力等の伸長を図ることを目的としています。

いずれの訪問地でも内容の濃い講義やワークショップを通して、自分たちがこれから学んでいく学問領域の一端を感じ取るとともに、自らの進路を考える良い機会となりました。また、2日目の広島大学では、これから行っていく課題研究のテーマについて、大学生の前でプレゼンし、的確なアドバイスを得て、研究の方向性を定めることができました。研究テーマについては、2月に渡辺翁記念会館で行う発表会に向けて検討を続けていきます。そして、一年後には研究内容を英語でプレゼンする海外研修（シンガポール）が待っています。

	人文社会科学コース	自然科学コース
1日目	学校 → JICA中国 → 宿泊地 (国際協力に関する講義・実習)	学校 → 酒類総合研究所 → 宿泊地 (施設の見学と講義)
2日目	宿泊地 → 広島市立大学広島平和研究所 (平和に関する講義 講師：吉川元所長)	宿泊地 → 広島大学教育学部 (甲殻類に関する講義・実習 講師：富川光准教授)
	広島大学ライブラリーホールにて 総合科学部国際共創学科の概要説明（フंक・カロリン教授） → 学食で昼食 → 本校OB学生との交流（課題研究テーマに関するプレゼンと意見交換） → 学内散策 → 学校	



JICA中国で平和に関するワークショップ



酒類総合研究所の施設見学



夜は大学生向けのプレゼンポスターを作成



宿泊場所は雪でした。



広島市立大学・施設を見ながら平和研究所へ



広島大学・富川先生の「スジエビの観察実習」



広島大学で本校OBの前にポスター発表



広島大学でOBを囲んで記念撮影

## 生徒の感想より

- ・フレッシュマンセミナーの時よりずっと楽しく、色々なことを学べ、有意義な研修になりました。
- ・大学の講義を聴いたり、学内を散策したりして、大学の雰囲気がわかってよかった。広大に行きたい。
- ・「スジエビ」のお話がとても面白く、なぜ？という疑問から研究が始まるのだとわかった。
- ・広島大学で大学生を前にプレゼンをして、自分たちの研究に何が必要になってくるのかが分かりました。
- ・普段の生活で息の詰まることも多かったので、新しい風に触れられて、新鮮な気持ちになりました。